

千葉県言語聴覚士会ニュース

NO.17 2005年12月23日

目	次		
研修会のお知らせ 1	理事会等報告 7
社会局から 4	求人情報 8
施設紹介 5	事務局から 11
臨床こぼれ話 6		

学術局から

1. 研修会のお知らせ（詳しくは別紙をご参照下さい）

平成17年度 第4回研修会

今回の研修会は、コメンテーターの先生をお招きし、「小児分野の症例検討会」を計画しております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

- * 日 時：平成18年2月19日（日） 13時～16時
- * 会 場：千葉県こども病院 第1会議室
- * 内 容：症例検討会（小児）
 - 提案者：戸辺 幸代先生（野田市立二川小学校）
 - 宮本 清美先生（谷津保健病院）
 - コメンテーター：那須 道子先生（八千代市ことばと発達の相談室）
 - 知念 洋美先生（千葉県千葉リハビリテーションセンター）
- * 参加費：会員・会友無料、会員外・学生 500円
- * 申し込み・お問い合わせ先：

〒299-5235 千葉県勝浦市出水1221 塩田病院

リハビリテーション科 言語聴覚士 斎藤敬子

TEL：0470-73-1221 FAX：0470-73-1224

（お電話によるお問い合わせは17：30以降にお願い致します）

2. 平成17年度 第3回研修会報告

平成17年11月27日（日）千葉大学医学部附属病院3階第2講堂にて、平成17年度第3回研修会が開催されました。今回は、多摩北部医療センターの山本弘子先生をコメンテーターとしてお招きし、「筋緊張性ジストロフィーと脳梗塞により重度嚥下障害を呈した一例」（亀田総合病院 熊倉紀子先生）の症例検討会を行ないました。また、引き続き山本弘子先生には「頸部聴診法による嚥下障害の評価」の講演をしていただきました。

参加者は過去最多の94名（会員・会友：56名、会員外：38名うち学生14名）でした。アンケートも多くの方にご協力いただきましたので、結果の一部をご紹介いたします。



第3回研修会アンケート結果 (回答者: 54名)

研修会に参加していましたか?

とてもよかったです: 51名 普通: 3名

【具体的に】

- ・嚥下の勉強会はなかなかないのでよかったです。
- ・現場の臨床に直結する講義でとても勉強になった。
- ・喉頭の触診、特に筋緊張の亢進について判断できないのでもう少し詳しく教えてほしい。
- ・実際に演習で聞いてみると聞き分けが難しいと実感しました。嚥下音のサンプルCDはぜひとも作っていただきたいです。
- ・侵襲性の高いVFを行なわなくても嚥下動態が調べられるかもしれないということは今後の臨床に有効になっていくと思う。
- ・今まで参加した研修会の中で、最も有意義でした。頸部聴診法については文献も少なく、しかし現場では必要とされている情報ですので、今回のような機会を設けていただき本当に感謝しております。
- ・頸部聴診法についてとても興味深かったです。そして、聴覚的弁別力を養っていきたいと思います。

今後の研修会に対するご意見

- ・症例検討会も講演内容とテーマを合わせているとよいのでは?
- ・また嚥下についての勉強会を行なっていただきたいと思います。
- ・今後もニーズに即した内容のものをお願い致します。

今後も嚥下の研修会を行なってほしい、との意見が多数寄せられました。皆様のご希望に添えるよう努力していきたいと思います。

3. 研修会ビデオの貸し出し

これまでに行なった研修会ビデオの貸し出しを行なっています。下記の要領でお申し込みください。

貸し出し期間: 1ヶ月

方法: 返信用封筒 (B5 または A4 サイズ) に住所、氏名を書き、切手 (ビデオ 1本 270 円分、2本 390 円分) を貼って送ってください。

宛先: 〒271-0043 松戸市旭町 1-160 松戸神経内科 地域リハビリテーションセンター 四方田 博英

貸し出しビデオ

「S Tがおこなう高次脳機能障害の臨床」 講師 鈴木 勉 先生 (東京都立墨東病院)

「言語発達遅滞: 関係の中で育つことば」 講師 長澤 泰子先生 (日本橋学館大学)

「脳卒中の摂食・嚥下障害 - 臨床の実際 - 」 講師 矢守 麻奈先生 (都立駒込病院)

「重複障害児のAAC - 日常生活とS T訓練を結ぶ - 」

講師 知念 洋美先生 (千葉県千葉リハビリテーションセンター)

「記憶障害の臨床像と対処法 - 症例を通して - 」 講師 安田 清先生 (千葉労災病院)

「慢性期重度コミュニケーション障害者への支援 - 通院及び通所 (デイケア) リハビリテーションにおける言語訓練と生き甲斐作り - 」 講師 横張 琴子先生 (松戸神経内科)

「コミュニケーションの発達と支援 - 前言語期から言語獲得に向けて - 」

講師 長崎 勤 先生 (筑波大学)

「脳外傷の高次脳機能障害 - 認知・コミュニケーション障害の評価 - 」

講師 藤田 郁代先生 (国際医療福祉大学)

「S Tが創業した介護保険事業 - 失語症デイサービス「はばたき」ができるまで - 」

講師 遠藤 尚志先生 (言葉生活トリハビリ研究所 デイサービスはばたき代表)

「特別支援教育における言語聴覚士の役割 - よりよい連携をめざして - 」

シンポジスト 加藤 哲先生 (千葉県教育庁特別支援教育課)

小野 学先生 (川崎市立東菅小学校コーディネーター)

石田 宏代先生 (北里大学医療衛生学部 言語聴覚士)

高橋 理恵先生 (我孫子市教育研究所)

「頸部聴診法による嚥下障害の評価」 講師 山本 弘子先生 (多摩北部医療センター)

*貸し出しについての注意

ビデオの販売はしません。ダビングは禁止です。ビデオを紛失、破損した場合はご連絡ください。ビデオテープの代金を弁償していただきます。

4. 研修会資料の送付

希望者に研修会資料の配布を行なっています。返信用封筒(A4サイズ)に住所、氏名を書き、切手(200円分)を貼って送ってください。あて先はビデオ貸し出しと同様です。

対象資料：上記のビデオ 、 、 、 、 、 の資料及び下記のとおりです。

症例検討会「成人の高次脳機能障害」

発表者：武田 智子先生(千葉中央メディカルセンター) 酒井 千代先生(佐倉ホワイエ)

助言者：鈴木 勉先生(都立大塚病院) 相見 優子先生(下総病院他)

症例検討会「小児のコミュニケーション障害」

発表者：小宮山 則彦先生(亀田クリニック) 依田 美都先生(帝京大学市原病院)

助言者：田中 康雄先生(国立精神・神経センター国府台病院)

知念 洋美先生(千葉県千葉リハビリテーションセンター)

症例検討会「A D H D が疑われる小学2年生の指導 - 関係機関との連携をとおして - 」

発表者：渡邊 裕貴先生(印西市ことばの発達相談室)

齊藤 恵美子先生(印西市立内野小学校ことばの教室)

助言者：森永 良子先生(白百合女子大学)

「千葉県における新生児聴覚スクリーニング事業について - 早く見つかって良かったと思えるシステムをめざして - 」

基調講演：「新生児聴覚スクリーニングの現状と展望」

講師：工藤 典代先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

シンポジスト：福島 朗博先生(筑波大学附属聴覚学校乳幼児教育相談室)

斎藤 真純先生(千葉県こども病院耳鼻咽喉科)

田辺 佳子先生(千葉市療育センター・やまびこルーム)

症例検討会(成人)「他職種との連携」

発表者：大石 芳恵先生(松戸神経内科) 伊瀬知 真実子先生(八千代ケアセンター)

コメンテーター：大塚 剛先生(理学療法士・ロータスケアセンター、板倉病院)

勝又 綾子先生(ユー・アイ久楽部他)

症例検討会(成人・嚥下)「筋緊張性ジストロフィーと脳梗塞の合併により重度嚥下障害を呈した一例」

発表者：熊倉 紀子先生(亀田総合病院)

コメンテーター：山本 弘子先生(多摩北部医療センター)

5. 地域の勉強会について

平成15年度から会員の皆様のご協力により、地域の勉強会が開催されています。ホームページにて情報を公開しておりますので、「千葉県内で行なわれる地域の勉強会情報」をご参照の上、奮ってご参加ください。希望者にはメールマガジンでのアナウンスも行なっていますので、そちらもご参照ください。

6. 平成17年度 日本言語聴覚士協会連携委員会が始動しました

千葉県言語聴覚士会では、日本言語聴覚士協会都道府県士会協議会にて会員の皆様の意見をより多く反映できるよう、日本言語聴覚士協会連携委員会を設置しています。今年度の委員が次のように決まり、現在はより活用しやすい「生涯学習プログラム」を目指し活動しております。つきましては、実態を把握するためにアンケート調査を予定しております。ご協力ををお願いいたします。

【委員会メンバー】 笹本 しづ江（委員長） 村西 幸代、塘 まゆり、山口 真紀、佐野 基（書記）
【ワーキンググループ】 根本 達也、渡辺 裕貴、酒井 千代、斎藤 敬子（担当理事）

社会局から

1. 新生児聴覚スクリーニングに関する研修会

新生児聴覚スクリーニング検討委員会では、別紙の通り研修会を計画しています。現在、難聴児に関わる機会のある方だけでなく、広く皆様のご参加をお願い致します。詳細は別紙をご参照ください。

【期日および会場】 平成18年1月22日（日） 成田市健康福祉会館

2月 5日（日） 君津中央病院・筑波大学附属聾学校

2月 26日（日） 千葉市療育センター

2. 特別支援教育に関するアンケートを実施しました

平成17年10月24日、「特別支援教育」アンケート（第2弾）を介護施設（老人保健施設・特別養護老人ホームなど）に勤務する者を除いたすべての千葉県言語聴覚士会会員に送付させていただきました。大勢の方からご回答をいただき、また手書きでのご意見・ご提案を多数お寄せいただきましたことに、厚く御礼申し上げます。今後の活動の方向を検討する際に、活用させていただきます。詳細な結果のまとめはこれから作業ですが、特別支援教育に積極的に関わる「人材リスト」と、特別支援教育に対応できる「施設のリスト」は、12月1日に千葉県教育庁に持参いたしました。詳細は県士会ホームページに近日中に掲載いたしますので、ご覧戴ければ幸いに存じます。

実態調査委員会 長谷川 啓子



3. ホームページのご案内

県士会ホームページには、研修会、地域勉強会など県士会活動のご案内の他、県内の施設情報、学会の予定、医療保険制度や支援費制度、特別支援教育などに関する情報も掲載しております。どうぞご活用下さい。
<http://chibakenshikai.moo.jp/>

書籍コーナーへの投稿、求人情報への掲載依頼、その他のご意見、ご質問はメールで受け付けておりますので、以下のアドレスまでご連絡下さい。

chibakenshikai@zp.moo.jp

施 設 紹 介

こどものことば発達研究所 S T 家老 聖子

こどものことば発達研究所は、東京医薬専門学校言語聴覚士科の附属施設として平成9年に開設されました。現在、非常勤S Tと東京医薬専門学校の専任教員が1日1~2名ずつ勤務し、個別訓練を行なっています。S T養成校の附属施設という性質上、学生の実習施設としての役割も担っており、S Tと学生が一緒にケースを担当することもあります。

対象は小学6年生以下の幼児、学齢児で、昨年度は月平均90件の相談・訓練を行ないました。訓練のほか、夏祭りやクリスマス会、保護者研修会などの行事も行なっており、毎年多くのお子さん、保護者の皆さんのが参加されています。また、今年度より成人を対象とした訓練も開始しました。

今後は学校、幼稚園などのほか、近隣の病院、施設など他機関との連携も深め、より地域に根ざした施設を目指していきたいと思っています。

東京都東葛西6-18-2 ハイツスガ101 TEL:03 3688 6176

医療法人社団 寿会 小林病院 S T 鈴木 和歌子

小林病院は南房総の館山市にあり、病室からは館山の海が一望でき、よく晴れた日には海の向こうの富士山を眺めることもできます。当院は平成6年より高齢化社会に対応するため、医療と介護に重点を置いた療養型病床として生まれ変わり、同時に在宅での療養を可能にするために、在宅関連の事業所を併設し病床数99床と小さい病院ではありますが、地域に密着した医療と介護を目指して、お年寄りの方々の支援に日々努めています。

言語聴覚療法部門は、今年(平成17年)6月に開設したばかりですが、ST常勤1名で失語症・dysarthria・嚥下障害・高次脳機能障害などの入院リハビリテーションを中心に行なっています。ここ最近では摂食・嚥下障害に対するニーズが高く、慢性期および維持期ではありますが経口摂取への移行に向けての栄養ケアマネジメントに病院全体で取り組んでいます。

また、訪問でのSTリハビリテーションも少しずつ始めており、今後も地域に密着したリハビリテーションに積極的に取り組んでいきたいと考えています。

臨床こぼれ話

家族への負債感

長期療養型の病院に十数年勤務しています。患者さまのほとんどは数年にわたり入院されており、長いお付き合いが続いています。介護者やADL面、家屋等それぞれの事情で退院が難しくなっています。また病院は安全で信頼がおけ、リハビリ効果も期待できる場所と家族が考えることも入院を長期化させている一因だと考えられます。

病院が生活の活性化のために提供している園芸、回想、工芸等のアクティビティや季節の行事を楽しみ、自分流の生活を作り上げておられる積極的な方から、リハと食事以外はほとんどテレビを見て過ごすという方まで生活ぶりは様々です。ST対象の患者さまはどうしても人との関わりが苦手で前者は少なく、後者は多いといえます。ルーチン化した日常生活では、困る事もないけれど、楽しい事もないという毎日。

ともあれ病院が日常生活の居場所である以上、少しでもその人らしい快適な生活を送っていただきたいと、「何か困る事は?」「何かしたいことはありますか?」とよく尋ねてみます。答えは首を横に振られるNOサインがほとんど。スタッフとのコミュニケーションや院内での問題の他に、何かルーチンを破る楽しみはないものだろうかと「お正月家に帰ることは?」「お墓参りしたい?」「家までドライブは?」ご本人の意思を推測しながら、家族の協力が得られそうな可能性も推測しながら質問してみます。

笑顔とYESの返答があればSTとしては万々歳。通常のST訓練の中で、患者さまと家族が話し合い、STは患者さまの言語能力を引き出す黒子役を演じます。日ごろの思いを何とかして伝えようとあらゆる言語手段を駆使し、家族に理解してもらえ、希望が実現する事もあれば、事情がありかなえられないこともあります。「こんなこと思っていたのですね、初めて知りました。」とご家族。患者さまも希望が実現しなくとも、その事情がわかり納得される場合が多く、互いに意思を確認できるよい機会です。病気で家族に経済的、精神的に面倒をかけているという負債感は重く、外出や外泊などこれ以上手を煩わせるようなことは言い出せないという患者さまの気持ち、家族も患者さまに余計な心配をかけないよう現在の家庭の状況を話さないことがよく見受けられます。

この夏カナダの日系ホームを見学する機会がありました。カナダでは、子供は成人すれば自立、親の方も老後は子供に頼らず自立。自立できなくなれば、地域のケアサービスオフィスに相談し、介護度や他の条件を考慮しふさわしい施設に入ることが多いようです。日系ホームはケアつき住宅という概念で、「入居者個人に適した生活の選択権、個々の尊厳、自立性に重点を置き、必要に応じたケアを受け、自分自身にあった生活をする」が基本的な考え方。家族も泊まれるキッチン、バス、トイレ付きの広い個室、年金でまかなえる費用、数々のアクティビティやレクリエーションプログラムがあり、プライバシーが保たれている反面、社交生活やグループ活動も楽しめるという環境です。入居条件に「自立して生活することによって起こり得るリスクを受入れられること」とありますが、老後を自分の意思と責任をもって創り、それを社会が後押ししていると言えるでしょう。

日本でも医療や介護を取り巻く制度が変革しつつあります。今後団塊の世代になると、家族に負債感を持つことなく、自分の意思と責任で老後を創る時代が来るでしょう。

初富保健病院 石川保子

理事会・委員会報告

平成17年度 理事会

第10回

日時：2005年10月23日（日） 10:00～12:00 場所：プラザ菜の花 2階 サークル室 p a l B室
出席者：宇野 岡田 斎藤敬子 猪野真純（旧姓 斎藤） 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 三原（書記）
(事務局より) ・平成17年度一般会計中間報告について ・リーフレット印刷について ・県士会ニュースについて
(学術局より) ・第3回研修会について ・日本言語聴覚士協会連携委員会委員について
(社会局より) ・実態調査委員会アンケートについて ・特別支援教育登録ホームページについて
(その他) ・PT、OT、STによるリハビリテーション職種連携事業について、今後これらの事業を行なっていく方向で考えることになった ・法人取得について

第11回

日時：2005年11月20日（日） 10:00～12:38 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室
出席者：猪野 宇野 岡田 斎藤敬子 庄司 野島 野原 四方田（以上理事8名） 酒井（書記）
(事務局より) ・リーフレット印刷について ・会費未納者への対応について ・県士会ニュース（No17）について
(学術局より) ・第3回研修会について ・第4回研修会について ・日本言語聴覚士協会連携委員会委員について
(社会局より) ・特別支援教育の登録募集結果に基づく情報公開について
(その他) ・第5回都道府県士会協議会について ・法人化について ・生涯学習基礎講座講師派遣について

実態調査委員会

第4回

日時：平成17年10月2日（日） 9:30～12:00 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室
出席者：古森 野島 長谷川 松本（以上4名） 勝又（書記）
・研修会について ・アンケート調査について

第5回

日時：平成17年11月20日（日） 13:00～16:00 場所：千葉大学医学部附属病院 言語訓練室
出席者：太田 古森 野島 長谷川 松本（以上5名） 勝又（書記） 宇野（担当理事）
・人材リストについて ・千葉県士会HP掲載について ・アンケート結果について

新生児聴覚スクリーニング検討委員会

第6回

日時：2005年10月2日（日） 10:00～12:00 場所：千葉市療育センター 第1会議室
出席者：岡田 荻洲 猪野（旧姓 斎藤） 庄司 高橋（以上5名） 丸橋（書記）
・研修会について ・予算について ・会員への案内について

第7回

日時：2005年10月15日（土） 9:00～12:00 場所：千葉市療育センター スタジオ
出席者：岡田 荻洲 猪野 庄司 高橋（以上5名）
・千葉県新生児聴覚検査専門部会が作成している手引書について

第8回

日時：2005年11月19日（土） 14:30～16:30 場所：千葉市療育センター 第3第4会議室
出席者：岡田 猪野 庄司 高橋（以上4名） 丸橋（書記）
・研修会の案内、申し込み、情報保障、日程について ・研修会の内容について ・今後の委員会の活動について

日本言語聴覚士協会連携委員会

第1回

日時：2005年10月30日（日） 10:00～12:00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者： 笹本 塘 野島 村西（以上4名） 佐野（書記）

・アンケート項目、基本理念、作成および集計方法について

第2回

日時：2005年11月16日（水） 19:00～21:00 場所：高洲コミュニティーセンター

出席者： 笹本 斎藤 塘（以上3名） 佐野（書記）

・委員選出について ・アンケート内容について ・今後の予定について

（紙面の都合上、報告事項と協議事項はまとめて記載しています。）

求人情報

（2005年12月14日現在）

詳細は、千葉県言語聴覚士会ホームページをご覧下さい。

四街道徳洲会病院

募 集：常勤1名（言語聴覚士の有資格者で経験者を希望）

対 象：主に成人の失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害等

その他：平成18年4月より勤務開始、募集期間 随時、施設基準 言語聴覚療法（ニーズが上がりば増員予定 基準に対応可能のように部屋数等用意済み）

平成17年11月に開設したばかりの急性期病院、病床数134床、PT2名 OT1.5名（OT、PTとも増員予定あり随時募集しています）見学は可能ですので気軽に連絡下さい。

千葉県四街道市吉岡入輪戸1830-1（代表TEL 043-214-0111）

問合せ先：千葉徳洲会病院 リハビリテーション科 木下 又は 安原

TEL 047-466-7111（代表） 047-466-7113（リハビリ直通）

FAX 047-464-6322 e-mail rehabili@chibatoku.or.jp

千葉市療育センター 療育相談所

募 集：言語聴覚士 非常勤1名

対 象：小児の言語・コミュニケーションの障害

（言語発達遅滞、構音障害、吃音、聴覚障害、軽度発達障害など）

その他：9時～17時、月～金、平成18年4月1日勤務開始、時給1300円、交通費1日600円まで
応募締め切り 平成17年12月26日(月)、面接日 平成17年12月27日(火)

応募方法：履歴書、免許証の写し、成績証明書・卒業見込み証明書（学生の場合）を下記まで郵送

〒261-0003 千葉市美浜区高浜4-8-3 千葉市療育センター 療育相談所 鬼島敦子

問合せ先：療育相談所 鬼島敦子 または 高橋典子 TEL 043-279-1141

良志会 リハビリテーションクリニック リハビリテーション士気

募 集:急募 随時

対 象:成人(外来、入院)

その 他:8時~17時、4週8休、病床数18床、施設基準 理学、作業、言語療法

併設で、通所リハ施設があります。訪問看護、訪問リハも行なっています

問合せ先:千葉市緑区土気町446-52 電話043-205-6211 FAX043-205-6222 事務長 岩佐

東京医薬専門学校

募 集:常勤または非常勤(応相談)

業務内容:講義(成人・小児) and/or 附属施設での小児臨床

その 他:勤務開始時期 随時、東京都江戸川区東葛西6-5-12

問合せ先:お電話、mailにてお問い合わせ下さいTEL 03-3688-6161 mail takahira@tcm.ac.jp
言語聴覚士科 高平

千葉市障害者福祉センター

募 集:言語聴覚士 非常勤1名

対 象:成人(失語症、聴覚障害、構音障害、その他の言語障害)

その 他:9時~17時 週2回より、土日勤務あり(勤務日応相談)

雇用日から平成18年3月31日、時給1300円

問合せ先:千葉市中央区千葉寺町1208-2 千葉市ハーモニー・プラザ1階 TEL 043-209-8779
担当 蒔田(まきた)

介護老人保健施設 ハートケア流山

募 集:言語聴覚士 常勤・非常勤

対 象:成人失語症、構音障害、高次脳機能障害、嚥下障害(入所120名、通所36名)

その 他:常勤週40時間、非常勤週2~3日(時間は応相談)

問合せ先:千葉県流山市小屋146-1 TEL 04-7178-2200 riha@hc-nagareyama2200.jp
電話・メールにてお問い合わせ下さい。

医療法人心和会 新八千代病院

急募

募 集:言語聴覚士 常勤1名(経験者希望)

対 象:成人言語障害・嚥下障害

その 他:8時30分~17時(週休2日制)当院規定優遇 交通費全額支給

問合せ先:〒276-0015 八千代市米本2167 TEL 047-488-3251 FAX 047-488-8807
事務長 板垣、リハビリテーション科科長 藤田

医療法人社団健脳会 千葉脳神経外科病院

急募

募 集:言語聴覚士(有資格者)1名

その 他:8時30分~17時、4週7休、初任給24万円、有給初年度10日(入職半年後)

夏休、年末年始休暇有り、各種社会保険完備、できるだけ早く勤務して頂ける方。

問合せ先:〒263-0001 千葉市稻毛区長沼原町408 TEL 043-250-1228(代)
担当 リハビリテーション科 岡本 <http://www.chiba-nougeka.or.jp/>

介護老人保健施設 ユーカリ優都苑

募 集：常勤または非常勤
対 象：入所（一般・ショートステイ）96名、通所リハ40名
そ の 他：千葉県佐倉市青苔1010-15、開設 平成17年6月
問合せ先：開設準備室 P T加藤さん 佐倉市南ユーカリが丘11-2 SYビルTEL 043-460-7117
<http://www.yutoen.com>

千葉県身体障害者福祉事業団 千葉リハビリテーションセンター

募 集：言語聴覚士 非常勤
対 象：成人（臨床経験のある方）
そ の 他：週2日（16時間）曜日・日数 応相談、平成17年7月1日～平成18年3月
給与 学歴・経験年数による加算あり
問合せ先：043-291-1831（内線261・252） hiromi.chinen@chiba-reha.jp

医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック

急募

募 集：言語聴覚士 非常勤1名（経験者優遇）
対 象：通所リハビリテーション 利用者（定員40名 入所なし）
そ の 他：平日週2回 各半日程度、出勤日など委細応相談、平成17年4月より
時給2000円、年2回賞与（2～5万円） 交通費全額支給、有給休暇あり
応募方法：市販の履歴書（写真貼付） 資格の写し又は卒業見込証明書を郵送または持参
問合せ先：〒274-0822 船橋市飯山満町3丁目1345-1
東西線直通 東葉高速鉄道 飯山満駅徒歩5分
医療法人沖縄徳洲会 はさまレインボークリニック 事務長代行 蔵本
TEL 047-496-3883 <http://www.tokushukai.or.jp>.

医療法人社団恵仁会 セントマーガレット病院

急募

募 集：言語聴覚士 有資格者もしくは資格取得見込みの方
そ の 他：平成17年度初任給 理学療法士23万、既卒者は経験による、昇給年1回、賞与年3回
年間休暇104日、年次有給休暇（入職半年後）10日、夏期休暇・年末年始休暇あり
各種社会保険完備、24時間保育室完備、交通費上限35000円
応募方法：有資格者 履歴書（写真添付）免許証（写）
在学中者 履歴書（写真添付）卒業見込み証明書、成績証明書、健康診断書
採用試験、見学は隨時受付
問合せ先：〒276-0022 千葉県八千代市上高野450 医療法人社団 恵仁会 セントマーガレット病院
TEL 047-485-5111 FAX 047-484-1119 <http://www.st-marguerite.or.jp/jinrai@st-marguerite.or.jp>

坂の上外科

募 集：言語聴覚士 常勤もしくは非常勤1名
対 象：一般外来リハ、通所リハ、訪問リハ、療養病床12床、一般病床7床
そ の 他：8時30分～17時30分（応相談） 勤務日 応相談、待遇 当院規定優遇
問合せ先：千葉市緑区土気町311 TEL 043-294-5551 FAX 043-294-6513
リハビリテーション科 PT 波平（なみひら）

医療法人静和会 浅井病院

募 集：言語聴覚士 常勤（経験者希望）

対 象：成人の失語症、dysarthria、摂食・嚥下障害等

問合せ先：〒283-8650 千葉県東金市家徳38-1 TEL 0475-58-5000（代表）
企画管理浅岡・ST若梅

医療法人社団主春会 小張総合病院

募 集：言語聴覚士

対 象：成人、小児の言語障害

その他：4週8休、採用隨時、給与 当院規定により優遇、経験加算有り、賞与 年2回

問合せ先：〒278-8501 千葉県野田市横内29-1 TEL 04-7124-6892
リハビリテーション科 小林

事務局から

1. 会費納入のお願い 重要

平成18年度の会費を同封の振込用紙にてお振込みいただきますよう、お願いいたします。
また、平成17年度の会費をお支払いいただいている方は、大至急納入するようお願いいたします。
本会の会則により、2年以上会費未納の場合、退会処分となりますのでご注意ください。

2. リーフレットができました

千葉県言語聴覚士会のリーフレットが完成しました。所属施設に置きたい、研修会などで配布したい等ご希望がありましたら、必要部数と連絡先を明記し、事務局までお申し込みください。追ってご連絡いたします。また県士会ホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。



千葉県言語聴覚士会

<http://chibakenshikai.moo.jp/>
chibakenshikai@zp.moo.jp

3. 変更届の提出、ありがとうございました

前回のニュースの中で住所等の変更届の提出をお願いし、多くの方からご連絡をいただきました。ご協力ありがとうございました。今後も引き続き、変更などが生じた際はすみやかにご連絡いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

また会員の皆様には会員名簿を同封しています。ご活用ください。

4. 新入会員のお知らせ (敬称略) 会員数: 正会員 215名 会友 23名 贊助会員 2団体

(平成17年11月20日理事会承認分まで)

... 正会員・会友 ...

なし

... 訂正 ...

前回のニュースの中に誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

(誤) 高橋 和子 (千葉県立柏養護学校) (正) 高畠 和子 (千葉県立柏養護学校)



編集後記: 今年も残すところわずかとなりました。

寒い日が続いています。温かいものを食べてスタミナをつけましょう。

事務局

〒272-0823 千葉県市川市東菅野2-12-4 市川ことばの会 内

TEL/FAX: 047-324-5023

E-mail: chibakenshikai@zp.moo.jp

ホームページ: <http://chibakenshikai.moo.jp/> 会員専用パワード: affordance